

国際協力



2015 春号

No.43 2015.4.1

JICA駒ヶ根



| | |
|-------------------------|--------------------------|
| 特集・青年海外協力隊事業50周年記念… 1・2 | 協力隊員現地レポート …… 5 |
| イベント・レポート …… 3 | 新スタッフ紹介 …… 5 |
| 草の根技術協力 新案件採択! …… 4 | インフォメーション(派遣前訓練公開講座) … 6 |
| JICA長野デスクの窓から …… 4 | 長野県出身新ボランティア …… 6 |
| 中小企業海外展開支援関連 …… 5 | |

特集 青年海外協力隊事業50周年記念

JICAボランティア 春募集、始まりました!

“僕たちにできることは必ずある!”

途上国はあなたの力を待っています。今年で50周年を迎える青年海外協力隊。少しでも興味を持ったら、まずは、3月下旬より行われる長野県内のJICAボランティア春募集説明会へ足を運んでみてください。

今回も訓練所での一日体験入隊も含め、内容盛りだくさん。ためになる情報、人材をそろえて皆様のお越しをお待ちしています!

JICAボランティア募集説明会とは

- ～ 毎回、このような内容で行っています～
- ◇ JICAボランティアの現地での活動(ビデオ上映)
- ◇ JICAボランティアの制度や支援体制の紹介
- ◇ 経験者による体験談: JICAボランティア経験者が、派遣前、派遣中、派遣後に、それぞれどのような課題にぶつかり、どのように解決した

のかをざっくばらんに語ります。
◇ 個別応募相談: 応募書類の書き方や、どんな人物や能力が求められるのか等をスタッフが個別にお答えいたします。

訓練所スタッフによる個別相談



各会場の、体験談をお話する方々、目玉をご紹介します

[4月3日(金)飯田市りんご庁舎] [18:00-20:00]
 ・元シニア海外ボランティア
 (派遣国: スリランカ 職種: 食品加工。現在駒ヶ根訓練所スタッフ)
 ・元青年海外協力隊
 (派遣国: フィリピン 職種: 村落開発普及員。県内で地域おこし協力隊員として活動中。)

[4月4日(土)松本市Mウイング]
[10:30-12:30(シニア)、14:00-16:00(青年)]
 ・元シニア海外ボランティア(派遣国: ヨルダン 職種: 電子工学)
 ・元青年海外協力隊(派遣国: ルワンダ 職種: 電子工学)
 ※元青年海外協力隊進路相談カウンセラーによる「帰国後の進路について」の講演もあります。

[4月18日(土)岡谷市イルフカルチャーセンター] [14:00-16:00]
 ・元シニア海外ボランティア(派遣国: ヨルダン 職種: ソーシャルワーカー)
 ・元青年海外協力隊(派遣国: ジャマイカ 職種: コミュニティ開発)



「一日体験入隊」での語学体験講座



「一日体験入隊」での昼食懇談会

[4月19日(日)上田市交流文化芸術センター] [14:00-16:00]
 ・元シニア海外ボランティア(派遣国: ウルグアイ 職種: 渉外促進)
 ・元青年海外協力隊(派遣国: パナマ 職種: 理学療法士)

[4月26日(日)一日体験入隊 in 駒ヶ根訓練所]
 今回も無料バス運行!(名古屋、山梨、長野方面より)
[10:15-16:00]

- ① 訓練所施設見学～ 実際の派遣前の訓練施設を体験!
- ② JICAボランティア候補生との昼食懇談会～
派遣直前の候補者からじかに話を聞くことができます。
- ③ 国際理解教育ワークショップ
- ④ 語学訓練体験講座&語学試験対策講座
- ⑤ 健康管理特別講座&協力隊員よろず相談
- ⑥ 活動中の隊員とのSkype中継:
現在活動中の隊員(派遣国: インドネシア 職種: 日本語教師)とつなぎ、現地や活動の様子を生中継でレポートしてもらいます。

※4/26の「一日体験入隊」のみ、事前のお申し込みが必要です。
(参加費: 昼食代500円)

お問い合わせ・お申し込みは

駒ヶ根青年海外協力隊訓練所(JICA駒ヶ根) 担当: 秋好まで
 TEL: 0265-82-6151 FAX: 0265-82-5336
 Eメール: jicakjv-jocv@jica.go.jp

JICAボランティア豆知識: 知ってました?!こんな事実:

- ・長野県出身の協力隊員数、実は多いんです。県別人口対比でなんと全国第3位!(2014年時点)
- ・JICAボランティア(青年海外協力隊とシニア海外ボランティア)は派遣される前に合宿で語学などの訓練を受けます。それら訓練所は、駒ヶ根訓練所と二本松訓練所(福島県)の、日本でなんと二つしかありません!



シリーズ 世界から地域で活躍！ 信州で活躍する元協力隊員2人に聞きました。

- Q1：現在の活動について教えてください。
 Q2：協力隊の経験で一番印象に残っていることは？
 Q3：今の活動に、協力隊の経験はどう生かされていますか？
 Q4：これからの夢、チャレンジしたいことを教えてください。



長野市 ^{いそ}磯尾 ^{ともこ}智子さん
 (旧姓 四方)



(平成15年1次隊 派遣国：パラオ / 職種：小学校教諭)
 現在、長野市内の小学校教諭。

Q1: 長野市内の小学校教諭。京都市の教員でしたが、3年前、結婚を機に長野県に来ました。毎年夏、上伊那の先生たちと一緒に、中央、南の両アルプスを縦走しながら、高山植物を実地踏査しています。山の風雨に曝されながらも健気に生きている高山植物に出あえる半面、シカによる食害が目立ちます。山から学んだことを子どもたちに伝え、豊かな信州の自然をいかに残していくか、子どもたちと子どもたちへの授業中、常に自分で考え、自分の意見をもって欲しいと願っています。



Q2: 赴任した小学校では、体育の授業がありませんでした。子どもたちに、仲間と一緒に身体を動かす楽しさを知って欲しいと、体育の授業を始め、村民を巻き込んで運動会も開催しました。リレーや借り物競走、棒引きなどのほか、組み体操も行い、とても盛り上がりました。



協力隊時代のパラオで行った組み体操

Q3: 協力隊に参加したことで、子どもたちを多角的かつ柔軟に見られるようになったのと同時に、日本の良さ、特に教育の充実や質の高さを実感できました。この「収穫」を日本の教育現場で生かしていきたいです。

Q4: 日本の良さを実感し、変化の激しい時代をたくましく生きていくことのできる子どもたち、自分の時間を他の誰かのために使うことのできる子どもたちを育てていきたいです。それと同時に、国際理解教育について共に考えていく教員仲間を増やしていきたいです。



駒ヶ根市 ^{あかし}赤塩 ^{ちくす}千寿さん
 (旧姓 伊藤)



(平成12年度3次隊 派遣国：パキスタン / 職種：美容師)
 駒ヶ根市在住。

Q1: 現在駒ヶ根市内で美容院を経営。本業の傍ら、地域イベント「みなこいワールドフェスタ」の国際広場の日には、パキスタンの食のブースを出展したり、以前は現地のウルドゥー語を教えたりしたことも。

Q2: とにかく現地の人たちの人懐っこさと明るさが印象的でした。政府が運営している女性のための職業訓練校に派遣されて、美容師を目指す女性たちに指導を行っていましたが、彼女たちもとても元気で陽気。最近パキスタンといえばイスラム教の国で、女性が抑圧されている、などとイメージされがちですが、一般のイスラム教の人々は本当に普通の人たちでした。

Q3: 帰国後、自身では意識していませんでしたが、友人に「話しやすくなったね」と言われました。派遣前の訓練期間中に他の多くの候補者やスタッフの方たち、そして現地で多くの人たちと関わるうちに、自分では気づかぬうちにそうなったようです。美容師になりたての頃は、お客さんと何を話してよいか戸惑うこともありましたが、協力隊での経験は、現在の接客業にも大きくプラスになっていると思います。



同期の隊員をモデルにヘアカットの指導中

Q4: 昨年、久々に母校の小学校から依頼されて、生徒さんにパキスタンでの体験を話し、現地料理の調理実習も行いました。今後もそのような機会があれば、パキスタンという国の事実を正しく伝えていきたいです。本業では、日本発、まだ県内では世に出ていない「イアーアートジュエリー」を駒ヶ根の、自分の美容院から発信していきたいです。

帰国したJICAボランティアの方

2年間の活動
お疲れ様でした!!

青年海外協力隊 (H24年度3次隊 2013年1月～2015年1月)
 自治体連携(駒ヶ根市)による派遣



吉澤 啓太郎 さん (駒ヶ根市) ●派遣国：ネパール ●職種：行政サービス



隊員仲間と開催した「日本人祭り」で仲良くなった子どもと、学校で折り紙を渡ったそうで見せてくれました。

駒ヶ根市の友好都市である、ネパールのボカラ市で活動してきました。市バスの改善プロジェクトや駒ヶ根市の協力で建てられた母子保健病院のモニタリングなど、いろいろな活動をし、いろいろな人と関わって活動することができました。これまでネパールで活動

されてきた先輩隊員の皆さんや駒ヶ根とボカラの友好関係のおかげで、出会うみんなが日本のことを好きでいてくれました。この二年間でさらに、私自身や日本、そして駒ヶ根のことを好きになってくれたことが一番大きな成果だと思います。

現在は駒ヶ根市役所に復職し、広報を担当しています。広報マンとして駒ヶ根とネパール、そして協力隊の素晴らしさを伝えていきたいと思っています。



他の隊員と行った健康増進のプログラムにて、ラジオ体操はよくやりましたが、ネパール人には慣れない動きなので、いつも笑いが起きて盛り上がりしました。

JICA国際協力中学生・高校生 エッセイコンテスト ～今年も最優秀賞、審査員特別賞が県内より選出されました！

本年度も県内から中学生の部1,066作品(全国/37,669作品)、高校生の部1,657作品(全国/28,793作品)ものご応募をいただきました。ありがとうございました！ 2月から3月にかけて、受賞された生徒さんと学校へ、訪問表彰にお邪魔しました。今年のテーマは「つながっている、世界と私ー未来のために私がしたいことー」。多くの皆さんが、身近な自分の周りが世界とつながっていることを意識し、さらに世界のために何ができるかを、力強く書いてくれました。お会いした生徒さんはみな、生き生きとしていて、受賞の喜びとともに自身の将来について話してくれました。

また、今年も県内より全国表彰作品が2つも選出され、東京で行われた表彰式に参加されました。副賞は海外研修旅行です！



全国表彰の審査員特別賞を受賞した駒ヶ根市立赤穂中学校の小林一葉さん。ネパールで活躍している元協力隊員の女性との出会いについて書きました。



上田高校ではなんと 407 名の生徒さんが応募してくれ、4 名が長野県 OB 会会長賞を受賞！

長野県受賞者・受賞校一覧

◆高校の部

| 受賞校名 | 賞名 | 受賞者氏名 |
|--------------|---------------------|---------|
| 長野県須坂高等学校 | 外務大臣奨励賞 | 福島 風子さん |
| 佐久長聖高等学校 | 駒ヶ根青年海外協力隊訓練所 所長賞 | 神谷 楓さん |
| 長野県上田高等学校 | 学校賞 | |
| 〃 | 青年海外協力隊長長野県 OB 会会長賞 | 青木 美緒さん |
| 〃 | 〃 | 池田 瑞希さん |
| 〃 | 〃 | 平澤 拓海さん |
| 〃 | 〃 | 宮入 真美さん |
| 長野県上伊那農業高等学校 | 特別学校賞 | |
| 長野県篠ノ井高等学校 | 学校賞 | |
| 〃 | 青年海外協力隊長長野県 OB 会会長賞 | 高橋 咲良さん |
| 〃 | 〃 | 飛田 槇子さん |
| 〃 | 〃 | 浜野 詩織さん |
| 長野県下伊那農業高等学校 | 特別学校賞 | |
| 長野県長野高等学校 | 特別学校賞 | |
| 〃 | 佳作 | 中村 文香さん |
| 長野県松川高等学校 | 特別学校賞 | |

◆中学の部

| 受賞校名 | 賞名 | 受賞者氏名 |
|-----------------|---------------------|---------|
| 駒ヶ根市立赤穂中学校 | 審査員特別賞 | 山本 一葉さん |
| 飯田市立高陵中学校 | 学校賞 | |
| 池田町立高瀬中学校 | 佳作 | 宮崎木乃香さん |
| 大町市立第一中学校 | 学校賞 | |
| 駒ヶ根市立赤穂中学校 | 特別学校賞 | |
| 佐久市立浅間中学校 | 学校賞 | |
| 信州大学教育学部附属長野中学校 | 特別学校賞 | |
| 〃 | 佳作 | 松岡 愛美さん |
| 信州大学教育学部附属松本中学校 | 学校賞 | |
| 〃 | 佳作 | 山田光花莉さん |
| 〃 | 駒ヶ根青年海外協力隊訓練所 所長賞 | 小林 由佳さん |
| 松本市立旭町中学校 | 青年海外協力隊長長野県 OB 会会長賞 | 朴 智恵さん |
| 松本市立信明中学校 | 学校賞 | |

第6回クロスカルチャーデー in Komagane ～2015年3月1日開催～

駒ヶ根市の素晴らしさを世界にアピールしようと始まった「クロスカルチャーデー in Komagane」も6回目を迎えました。

今回は2度目の駒ヶ根市東伊那地区の伊那耕地での開催でした。外国人ゲスト、市民の皆さん、ボランティア候補者の総勢80名の方々が参加され、日本文化体験を通して、交流を深めました。ゲストが到着すると地元の方々による獅子舞の披露が始まり、続いて習字や折り紙体験、また餅つき体験で盛り上がりました。昼食にはみんなでついたお餅や地元の方が用意された郷土料理が並び、駒ヶ根の味を堪能。最後に伊那節をみんなで踊り、笑い声あふれる会となりました。

市民の方々の温かいおもてなしと楽しそうなゲストの様子がとても印象的な一日でした。



駒ヶ根の方々との交流を楽しんだゲストのみなさん。記念写真では自然と笑顔が溢れます。

草の根技術協力事業 新案件採択！

JICA 駒ヶ根が実施中の草の根技術協力事業が4件に！

JICA駒ヶ根では下記のネパールとスリランカでの草の根技術協力事業(地域提案型)を新たに開始しました。

1.ネパール:安心、安全な出産による母子保健の改善事業(提案自治体:駒ヶ根市、実施団体:ネパール交流市民の会)

2.スリランカ:高齢者ケア政策プラン・モデル形成プロジェクト(提案自治体:佐久穂町、実施団体:一般社団法人農村保健研修センター)

すでに実施中の2件は以下のとおりです。

3.フィリピン:レガスピ市における「公民館」づくりをモデルとした住民参加型行政の展開(提案自治体:飯田市、



草の根技術協力事業で建設されたばかりの公民館(フィリピン・レガスピ市タイサン村)

実施団体:NPO法人ふるさと南信州緑の基金)

4.フィリピン:安全農畜産業技術普及支援プロジェクト(提案自治体:南牧村、実施団体:公益社団法人国際農業者交流協会)

※草の根技術協力事業(地域提案型)とは?

地方自治体が主体となり、その地域社会が持つ知識や経験、ネットワークなどを活かした事業を実施することにより途上国の経済及び社会の発展に寄与する活動で、JICAが支援し、国のODAとして共同で実施する事業です。途上国の支援を行うと同時に地域の活性化も期待されています。

JICA駒ヶ根では信州の市町村が持っているズク(技術や知見)を途上国に活かしていただくため、草の根技術協力事業(地域提案型)を積極的に実施しています。



ネパール住民からの母子保健事業のための聞き取り調査の様子

JICA長野デスクの窓から♪

by 宮澤久美子 国際協力推進員



「地球の料理教室～TFT編」にて、マラウイの遊びを参加者とともに。

今年度最後の信州国際塾は、「地球の料理教室～TFT編」! 2/22(日)、TWO(2)が3つ並ぶという素敵

な日に長野市ふれあい福祉センターで実施しました。

協力隊OBの竹中成行氏によるマラウイ料理教室、信州イノベーションプロジェクト(SHIP)柳沢裕二氏によるワークショップ「地球の食卓」などを通して、世界へ関心を持ち、身近でできる国際協力の一步を踏み出そうというプログラム☆。当日は24名の参加者が集まり、地球という大きな食卓を共に囲む先進国・途上国の人々の「食」から「豊かさって何なのか」まで思いをはせました。ところでメニューにあったマラウイ料理(とうもろこしから作る主食「シマ」や野菜の料理)、油もほとんど使わずとてもヘルシーに作れます。

先進国に住む私たちが健康的な食事に20円プラス

して支払うことで、アフリカなど途上国の子供たちの給食支援に充てる取組みであるTFT(Table for Two)。今回は長野県でTFTを進めるSHIPさんと協力隊体験談との素敵なコラボレーションでした。

国際協力や世界に関心のある個人や団体のみなさん、ぜひ一緒にコラボの可能性を探ってみませんか? お気軽にJICA長野デスク(長野県庁東庁舎1階)へご相談ください。(電話:026-235-7186)

次号からは新しいJICA長野デスクの国際協力推進員・榎本智恵子がこのコーナーを担当します。

この3年間、本当にお世話になりました。ありがとうございました! これからもズク出して世界に・地域に飛び出していきましょう(^ ^)



左が新任の榎本国際協力推進員。

JICA駒ヶ根 中小企業海外展開支援

中小企業海外展開支援事業紹介セミナー(松本市)にて、ベトナムの魅力と可能性を紹介。

3月6日(金)松本市の松本商工会議所で「中小企業海外展開支援事業紹介セミナーin松本市～中小企業の途上国進出先No.1 ベトナム、その魅力と可能性～」を実施しました。共催はJETRO長野、八十二銀行、後援には長野県、中小機構関東本部、長野県中小企業振興センター、国際人材育成機構と県内の中小企業の海外展開を支援されている様々な機関にご協力いただき、当日は40名近くの方がご参加されました。



第1部のベトナムにおけるJICAの中小企業支援事業紹介からJETRO長野、八十二銀行、中小機構 関東本部の代表にもご出演いただいた第3部のパネルディスカッションまで、3時間半の長時間にもかかわらず、熱心にお聞きいただきました。

終了後の名刺交換会では、参加企業の皆様と出演者との積極的な交流が見られ、今後県内の多くの企業がベトナムで活動される可能性を感じるセミナーとなりました。

JICAが実施する中小企業海外展開支援事業では、2014年度第2回普及・実証事業で県内企業が2社、第2回案件化調査で県内企業が1社採択されました。

今後、県内の多くの中小企業の皆様に支援事業を活用いただける様、2015年度も県内各地でセミナーを開催して参ります。

**協力隊員
現地レポート
フィリピン**
from
しかのたけし
鹿野岳志さん
平成25年度4次隊
職種:防災・災害対策
信濃町出身



フィリピンレイテ島のオルモック市にて、日本での消防士の経験を活かし、地元レスキューチームが所有するクレーン等の機械操作についての訓練指導、地元住民に対して救命講



レスキューチームへの訓練指導 (左端が鹿野さん)

習を行なっています。

途上国特有のゆっくり、リラックスした雰囲気の間僚達に囲まれ、楽しく、時にイライラしながら、何とか1年が経とうとしています。

日本での仕事のペースを考えると、今の仕事の進まなさぶりには焦るばかりですが、残り1年と2ヶ月、同じくオルモック市で活動している国連やNGOがターゲットとしていない、地震対策、交通事故対策、過去の洪水災害の伝承の3点について活動を行っていきたいと思っています。



救命講習ワークショップを行っている様子

新スタッフ紹介



あきよし かつのり
秋好克則
国内協力員
(募集担当)

昨年9月16日から駒ヶ根青年海外協力隊訓練所でJICAボランティアの募集を担当しております秋好克則です。協力隊員として平成21年度4次隊でPCインストラクターの職種でエチオピアに派遣されました。

私は福島県二本松訓練所で派遣前訓練を受けましたが、日本に2つしかない協力隊訓練所を両方経験することができてうれしかざりです。どうぞよろしくお願いたします。



えのもち えこ
榎本智恵子
国際協力推進員
(JICA長野デスク)

3月より国際協力推進員となりました榎本智恵子です。平成22年度3次隊の青年海外協力隊として青少年活動の職種でブータンに派遣されました。これまでの経験、協力隊で培った機動力を生かして、県民の皆様が世界への扉を開くお手伝いをさせていただきます。県庁東庁舎の長野県国際化協会内でお待ちしています!



むらた ようこ
村田陽子
国内協力員
(語学訓練担当)

2月23日より駒ヶ根訓練所で勤務しております村田陽子です。主に語学訓練の担当をしております。平成24年度の青年海外協力隊としてホンジュラスに派遣されておりました。自然豊かな駒ヶ根に戻ってこられたことを大変嬉しく感じています。ボランティア候補者の学習サポートに全力を尽くす所存です。どうぞよろしくお願いたします。



のぐちかな こ
野口加那子
診療室看護師

こんにちは、3月16日に着任しました訓練所診療室の野口加那子です。

協力隊でグアテマラに、その後短期ボランティアでパラグアイに派遣され、地域の母子保健を中心とした活動をしていました。その後地元の北海道で訪問看護師をしていましたが、今回約7年ぶりに駒ヶ根に戻ってきました。診療室での主な業務は、候補者の健康相談や派遣前の予防接種管理になりますが、少しでも安心して訓練を受け、出発できるようサポートをしたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

Information

JICA駒ヶ根
インフォメーション

派遣前訓練公開講座

参加は無料ですが、事前にお申込が必要です。

▶ JICAボランティア事業の理念と目標

内容：JICAボランティア事業の概要及びその活動

5月1日(金) 13:00～14:50

定員：10名 講師：小川登志夫 事務局長（青年海外協力隊事務局）

▶ JICA事業概要

内容：JICAの目的・機構・歩み・現状などの事業概要

5月8日(金) 15:10～16:00

定員：10名 講師：青年海外協力隊事務局 職員

▶ 地球のステージ(コンサート)

内容：途上国で巡り合った人々との交流を映像と音楽そして語りで表現する「映像と音楽のシンクロ」ステージ。貧困生活の現状や紛争地域での子供たちの明るくたくましい姿などを映し出しながら、桑山氏自身の経験、ボランティア観を表現する。

5月13日(水) 15:10～17:00

定員：20名 講師：桑山紀彦氏（地球のステージ事務局）

公開講座とは・・・JICAボランティアの派遣前訓練で実施している各種講座を一般の方にも公開しているものです。会場はすべて駒ヶ根青年海外協力隊訓練所です。

▶ 世界の宗教理解

内容：世界の宗教についての理解を深める。

5月18日(月) 14:10～17:00

定員：10名 講師：斎藤嘉文氏（元文化学院 講師）

▶ 国際関係と日本の国際協力

内容：日本の援助の歴史、概略、現状を理解する

5月20日(水) 15:10～17:00

定員：10名 講師：廣野良吉氏（成蹊大学 名誉教授）

▶ 異文化適応概論

内容：文化とは何か、理解とは何か、カルチャーショックとは何か、適応するとはどういうことかなどの異文化に入っていくにあたっての心構え

5月23日(土) 13:00～14:50

定員：10名 講師：木村秀雄氏（東京大学大学院 総合文化研究科 教授）

※講師の都合等で実施日が変更になる場合がありますので、ホームページでご確認ください。

ホームページ <http://www.jica.go.jp/komagane/event/index.html>

平成26年度第4次隊


長野県出身新ボランティア

行ってきます!!



あきづき ひとし
秋月 仁士 さん(岡谷市)


派遣国：フィリピン
職種：自動車整備

 フィリピンの大学で自動車整備を教えに行きます。以前から発展途上国に興味があり、何か自分にも携われることがないかと思い参加を志望しました。今まで色々な方々に教わった事を、今度は現地の方々へ伝えてきたいと思ひます。



はなむら ゆりえ
花村 百合恵 さん(松本市)


派遣国：パラグアイ
職種：看護師

 小学生の時に栄養不良の子供の写真を見たことが、この世界に飛び込む最初のきっかけだったと思ひます。今まで支えて頂いた方々へ感謝の気持ちを忘れず、現地の人々との関わりを大切に、共に活動してきたいと思ひます。



やざわ くにあき
矢澤 国明 さん(駒ヶ根市)


派遣国：ネパール
職種：行政サービス

 駒ヶ根市の友好都市であるネパールのポカラ市役所へ駒ヶ根市役所職員として現職で派遣予定です。人との出会いを大切に両市の友好の絆がより深まるような活動をし、ひとまわり大きく成長して帰国したいと思ひます。



とくたけ ようこ
徳竹 暢子 さん(安曇野市)


派遣国：ケニア
職種：コミュニティ開発

 今まで途上国で沢山の人の助けられ笑顔をもらい教えられた恩返しをしたいという想いから応募しました。現地の人と衣食住を共にし、自分にできる精一杯の事を活動にしていきたい。また多くを学びたいと思ひます。



こうづ しの
神津 志野 さん(飯田市)

派遣国：チリ
職種：コミュニティ開発


 人種や国境に無頓着に生きていたいと思ひました。地球の裏側でも、現地の方々との出会いや苦楽を共に楽しみながら、一緒に何かを築けたら良いと思ひます。

シニア海外ボランティア



えざき れいこ
江崎 玲子 さん(富士見町)

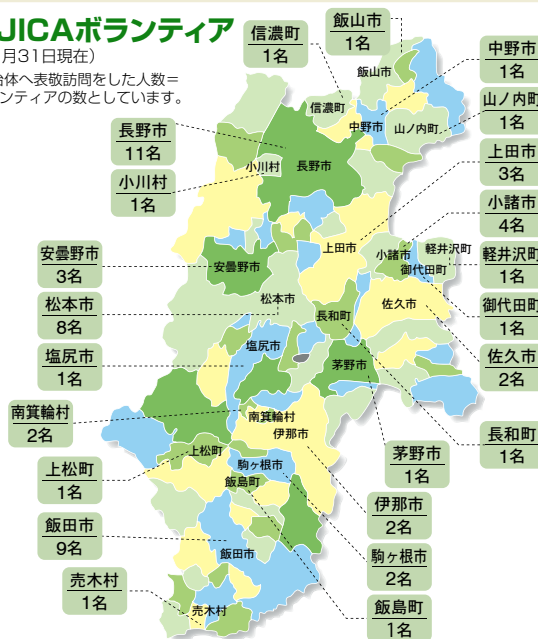
派遣国：チリ
職種：日本語教育

 南米での日本語教育がどのような状況にあるか知りたい、日本語の普及にお役に立ちたいと、チリ・サンチャゴ大学への派遣を希望し叶えられました。この2年間で何をするか、心配でもあり楽しみでもある今の心境です。

派遣中JICAボランティア

(平成27年1月31日現在)

※各地方自治体へ表敬訪問をした人数＝JICAボランティアの数としています。



長野県関係者 JICAボランティア派遣実績

平成27年1月31日現在

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| ①青年海外協力隊員 派遣中 55名 累計 927名 | ③日系社会青年ボランティア 派遣中 1名 累計 19名 |
| ②シニア海外ボランティア 派遣中 10名 累計 74名 | ④日系社会シニアボランティア 派遣中 1名 累計 4名 |

発行 独立行政法人 国際協力機構
駒ヶ根青年海外協力隊訓練所

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15
TEL.0265-82-6151(代) FAX.0265-82-5336
E-mail jicakjv@jica.go.jp
<http://www.jica.go.jp/komagane/index.html>

JICA駒ヶ根 facebook ページを開設!
<https://www.facebook.com/jicakomagane>

JICA駒ヶ根 メールマガジン
☑ 配信希望の方は jicakjv@jica.go.jp
までメールでご連絡ください!

JICA駒ヶ根では毎月1回メールマガジンを配信しています。県内の国際協力に関する動きやイベントなど、よりよい情報をリアルタイムでお届けします。